

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

講 師： 本田 学 (ほんだ まなぶ) 先生

国立精神・神経医療研究センター神経研究所
疾病研究第七部 部長

演 題： 脳と情報環境

日 時： 平成26年 1月20日(月)

18時00分 ～ 20時00分

場 所： M&Dタワー6階 共用セミナー室11

内 容： 脳は化学反応を基盤とする情報処理装置であるため、ある種の情報の存在や欠乏は、それに対応する物質の存在や欠乏と同様に、脳を介して生命活動に無視できない影響を及ぼす。こうした、「脳における〈物質〉と〈情報〉の等価性」の原則をふまえて、情報環境と生命現象との関わりをあらためて吟味すると、興味深い事実が見えてくる。例えば〈物質・エネルギー〉の生体影響は、客観的指標のもと厳密な科学的検討がなされているのに対して、〈情報〉の生体影響については、科学的検討、社会的関心、倫理的対応のいずれもが、未だ萌芽的段階に留まっている。本講義では、脳と情報環境に関して、脳機能イメージングを中心とする脳科学的アプローチと人文社会科学的アプローチがクロスオーバーしたインターディシプリナリな研究の最前線を紹介する。

連絡先： 泰羅 雅登 (認知神経生物学分野 内線5445)